

2022年9月7日

**東邦銀行×JA Fukushima未来連携プロジェクト
第1弾企画『とうほうマルシェ「JA Fukushima未来フェア」』開催
～降雹被害を受けた県内農業者を応援～**

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、JA Fukushima未来（代表理事組合長 数又 清市）と連携した取り組みを実施しますので、お知らせします。

当行とJA Fukushima未来は、地域貢献を考える組織連携プロジェクト「ピーチコラボレーション」を立ち上げ、金融機関向けITソリューションを手掛けるNTT データルウィーブ株式会社（代表取締役社長 三宅 信一郎）の仲介のもと、両組織の若手職員による意見交換を重ねて参りました。

この度、プロジェクト初の取り組みとして、本年6月の降雹被害により被害をうけた梨等の農産物・加工品を対象に、当行役職員が商品を購入し応援する『とうほうマルシェ「JA Fukushima未来フェア」』を実施致します。当行役職員が自発的に農産物等を購入することで、被害を受けた農業者を応援します。

また今後はJA Fukushima未来においても、当行取引先の商品購入支援を行う等、引き続き両組織が連携して地域の皆さまのお役に立つ取組みに努めてまいります。

記

1. とうほうマルシェ「JA Fukushima未来フェア」概要

とうほうマルシェ 概要	当行お取引先の商品を当行役職員が積極的に購入し消費購買面からお取引先の事業回復（売上）を応援する運動。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける事業者支援として2020年10月より実施。
本フェアの 開催目的	2022年6月の降雹により特に甚大な被害を受けた「梨」を中心とする農作物・加工品を当行役職員が購入することで、農業者を応援するもの。
対象商品	降雹被害を受けたJA Fukushima未来管内の農業者が生産する果物・加工品 ・梨 家庭用（傷・雹害含む）、梨 贈答用（豊水、あきづき）、 桃の恵み（ジュース） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><商品イメージ></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>降雹被害を受けた梨</p>  </div> </div>
実施期間	2022年9月12日（月）～2022年9月26日（月）
購入者	当行役職員

2. 「ピーチコラボレーション」プロジェクト概要

プロジェクト名	「ピーチコラボレーション」 人と人とのつながりと事業展開の道筋を意味する（ People network and channel ）と、福島県を代表する桃（Peach）とを掛け合わせて命名。
目的	福島県を拠点とする当行と JA Fukushima 未来の両組織が業務連携を通して、地域社会へ貢献する活動を企画・実施するもの。 メンバーは、20代～40代の若手職員で構成。
プロジェクト発足日	2021年11月4日

「JA Fukushima 未来（ふくしま未来農業協同組合）」概要

- ・福島県北地域（福島市・伊達市・二本松市・本宮市・川俣町・国見町・桑折町・大玉村）と相馬地域（相馬市・南相馬市・新地町・飯館村）の12市町村を管轄する広域JA。
- ・総資産8,330億円、支店数62支店、組合員数約94,000人（2022年2月末現在）を誇る。

「NTT データルウィーブ株式会社」企業概要

- ・1961年9月設立。大手金融機関向け決済システム、SWIFT、AMLソリューションや、全国JA向け窓口端末機、ATM、事務集中システム、RPA、AI、IoTなどの領域における新しいサービスの提案等を手掛けるIT企業。

3. 取扱開始日時

2022年9月12日（月）

4. 関連するSDGs



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

以上

東邦銀行